

計画書記載例1:規則第3条第1号～3号に該当する者

・本社の住所・代表者の氏名を記載してください。
・本社代表者以外が提出する場合は、委任状を添付してください(様式任意)

・対象者が提出する新規の計画書は、「第1項」となります。

静岡県地球温暖化防止条例第12条 第1項の規定

静岡県静岡市葵区追手町0-0

氏名 静岡県庁株式会社
代表取締役 静岡 太郎

申請者番号 111111

押印不要

電子申請する場合は、記入してください。
紙提出の場合は記入不要です。
※申請者番号交付の手続きは別途記載。
原則、電子申請で御提出ください。

エネルギー管理指定工場等の名称等	エネルギー指定工場等番号	1285832
	エネルギー管理指定工業等の名称	静岡県庁株式会社
	エネルギー管理指定工場等の所在地	〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
		9811 輸送用機械器具製造業
エネルギー管理者(員)情報	マネージャー	静岡 次郎
	許可番号	00-0000-0-00000
	又は講習修了番号	
	電話番号	054-221-3781
	FAX	054-221-2940
	メールアドレス	kankvou_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
特定事業者	氏名	静岡県庁株式会社 代表取締役 静岡 太郎
	住所 (主たる事務所の所在地)	〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町0-0 (電話番号) 054-221-3781
		静岡県庁株式会社 静岡工場 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6 (電話番号) 054-221-3781
事業所	「対象事業所」(エネ管指定工場等)の情報を入力してください。2号・3号事業者の場合は記載不要です。	
本報告書作成担当	所属	環境政策課 静岡 次郎
	連絡先	〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6 (電話番号) 054-221-3781 (Eメールアドレス) kankvou_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
		静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条
該当する箇所にチェックを入れてください。 該当する事業者要件	☒ 第1号	
	☐ 第2号	(県内事業所数
	☐ 第3号	(自動車保有台数
	☐ 第4号	(事業所で行う事業の区分を選択してください。)
事業所において行われる事業	31 輸送用機械器具製造業	
計画の内容	別紙1、別紙2のとおり	

(注)

- 1 静岡県地球温暖化防止条例施行規則第3条第1号又は第4号に該当する事業者は、対象となる事業所ごとに提出すること。
- 2 該当する□にレ印を記入すること。
- 3 変更の場合にあっては、変更内容が分かるように記入すること。なお、別紙の内容に変更がなければ、別紙の添付は不要とする。

(別紙1)

1 計画期間

計画期間	令和	7	年度	～	令和	9
------	----	---	----	---	----	---

原則、提出年度から3年間としてください。
※やむを得ない事情がある場合は2年以内でも可

2 温室効果ガスの排出量の削減目標

適切な指標を任意に選択してください。		基準年度 令和 6 年	目標年度 令和 9 年	対基準 年度比
温室効果ガス排出量A		二酸化炭素換算 (t) 5,051	二酸化炭素換算 (t) 5,100	
☒ 原単位排出量A/B		505.10	463.64	
温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値B (生産数量)		10.0 百万個 (生産数量)	11.0 百万個 (生産数量)	
Bの選択理由		生産数量により、設備の稼働時間が大きく影響を受けるため		

別紙2を参考に、必ず記入してください。また、目標年度の値を必ず設定してください。

Aを選択した場合は記入不要です。
A/Bを選択した場合は、省エネ法の定期報告を参考に、密接な関係を持つ値を設定し、その値を入力してください。
※省エネ法と異なる指標でも構いません。

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施する重点対策

(1) 基本対策

実施 年度	対策区分	設備・項目	対策メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施する措置	期待する 削減効果
7	運用対策	一般管理	推進体制の整備	ア 環境マネジメントシステム又はこれに準じたシステムの導入に努めるなどして、温室効果ガスの排出の抑制を効果的に推進するために、責任者の設置、マニュアルの作成及び社内研修体制の整備を行うこと。	0.3%
7	運用対策	設備の運用改善	燃焼合理化	・空気比を最適に設定すること。	0.5%
7-9	運用対策	設備の運用改善	変換合理化 _イ 照明・事務機器	・照明設備は、照度の適正化を図るとともに、適宜調光による減光又は消灯を行うことにより、過剰又は不要な照明をなくすこと。	0.5%
7-9	ドロップダウンリスト(指針(別表4)基本対策一覧)から、計画期間内に行う予定の対策を任意に選択してください。				0.5%
7-9	設備導入	その他	燃料の選択	単位発熱量当たりの二酸化炭素排出量が小さい燃料を優先的に選択して使用すること。	1.0%
8	設備導入	その他	再エネ・未利用エネ活用	ア 太陽光発電、風力発電、廃棄物発電、パ小型水力発電等の再生可能エネルギーに係るた設備を導入すること。	
9	運用対策	一般管理	運転管理	設備は、負荷の状況に応じ、高効率の運転が運転管理を行うこと。特に、設備が複数の設いる場合は、総合的なエネルギー効率を向上荷の状況に応じ、稼働台数の調整、稼働機器の適正配分を行うこと。	
7-9	設備導入	その他	余剰蒸気の活用等	ア 利用価値のある高温の燃焼ガス又は蒸気が存在する場合には、発電、作業動力等への有効利用を検討すること。また、複合発電及び蒸気条件の改善により、熱の動力等への変換効率を向上させること。	3.0%

左に記載した対策により、選択した指標(温室効果ガス排出量または原単位排出量)を削減できる見込みを割合で記載してください。

(2) (1) 以外の特色ある取組

実施年度	対策区分	設備・項目	対策メニュー	温室効果ガスの排出の抑制を図るために実施する措置	期待する削減効果
7-9	二酸化炭素の吸収源対策	二酸化炭素の吸収源対策	山林での植林活動等を行い、吸収源対策を行うこと。	事業所周辺の〇〇の森において、△月に職員約××人で植林活動（約□□本）を行う。	
7	地域や社員の家庭への普及啓発	社員の家庭への普及啓発	温暖化防止に関する社員教育の中で、社員の家庭での省エネルギーと	〇月に社員教育（温暖化防止研修会）を行い、各社員に対し温暖化防止に関する研修を行う。また、研修の中で家庭内の省エネチェックを行うことで、家庭内での省エネ行動につな	
ドロップダウンリスト(指針(別表6)その他対策一覧)から、計画期間内に行う予定の取組内容に近い区分を任意に選択してください。				(1)に記載した以外の特色ある取組の内容を任意に記載してください。	
8-9	地域や社員の家庭への普及啓発	地域等連携	し、環境に関するイベントや出前講座を開催すること。	地域のNPOと連携し、近隣の△△小学校で環境出前講座を開催する。	
9	エネルギー起源以外の削減取組	廃棄物削減対策	その他	バイオプラントの導入により、残原料の徹底を図る。	

左に記載した対策により、選択した指標(温室効果ガス排出量または原単位排出量)を削減できる見込みを割合で記載してください。なお、不明の場合は空欄でも構いません。

4 温室効果ガスの排出の抑制以外に実施する措置

(1) 静岡県地球温暖化対策 企業参加型事業への参画

参画年度	事業名	計画した参画の内容
7-9	ふじのくにCOOLチャレンジ	社員に温暖化防止アプリ「クルポ」への参加を呼びかけ。
7	環境マネジメントシステム（エコアクション21、ISO14001等）の普及啓発	エコアクション21について、業界関連企業に取得を促進
8-9	しずおか未来の森サポーター制度（協定締結企業）	緑の森サポーターとして、〇〇市と協定を結び、△△の森にて森林整備活動を実施
ドロップダウンリスト(指針(別表7)県事業一覧)から、計画期間内に行う予定の参画事業の内容を任意に選択してください。		左に記載した事業への参画の内容(具体的な関わり方)を記載してください。
9	静岡県リサイクル認定製品	新規に製造するリサイクル製品「〇〇」について、認定を取得

備考

1 「基準年度」は計画期間の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。

2 「温室効果ガスの排出の量の削減目標」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄からいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量 A/B」を選択した場合においても「温室効果ガス排出量 A」の値は記入すること。

(別紙2) 基準年度のエネルギー使用状況

			エネルギー使用量		販売した副生エネルギーの量		F = B - E (※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂) G (※5)
			数値A	熱量 (GJ) B=A×C (別表)	数値D	熱量 (GJ) E=D×C (別表)		
提出年度の前年度(令和6年度に提出する場合は令和5年度)のエネルギー使用状況を記入してください。				0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
原油のうちコンデンゼート (NGL)				0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
化石燃料	揮発油 (ガソリン)	kl	200.0	6680.0 (6920.0)		0.0 (.0)	6680.0 (6920.0)	458 (464.3)
	ナフサ	kl		0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	ジェット燃料油	kl		0.0 -		0.0 -	0.0 -	0 -
	灯油	kl	200.0	7300.0 (7340.0)		0.0 (.0)	7300.0 (7340.0)	501 (497.9)
	軽油	kl	200.0	7600.0 (7540.0)		0.0 (.0)	7600.0 (7540.0)	(524) (517.0)
	A重油	kl	400.0	15560.0 (15640.0)		0.0 (.0)	15560.0 (15640.0)	1,101 (1083.9)
	B・C重油	kl		0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	石油アスファルト			0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	石油コークス			0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	100.0	5010.0	0.0	5010.0	299
		石油系炭化水素ガス	千m ³			0.0	(5080.0)	(299.9)
	可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	t			0.0	0.0	0
		その他可燃性天然ガス	千m ³			0.0	(.0)	(.0)
	石炭	輸入原料炭	t	100.0	2870.0 (2900.0)	0.0	2870.0 (2900.0)	259 (260.5)
		コークス用原料炭	t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
		吹込用原料炭	t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
		輸入一般炭	t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
		国産一般炭	t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
		輸入無煙炭	t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
		石炭コークス	t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	コールタール		t		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	コークス炉ガス		千m ³		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	高炉ガス		千m ³		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	発電用高炉ガス		千m ³		0.0 -	0.0 -	0.0 -	0 -
	転炉ガス		千m ³		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	その他	都市ガス (※2)	千m ³	500.0	22500.0 (22500.0)	0.0	22500.0 (22500.0)	1,155 (1122.0)
		()	千m ³		0.0 (.0)	0.0 (.0)	0.0 (.0)	0 (.0)
	小計			67,520.0 (67920.0)		0.0 (.0)	67520.0 (67920.0)	4,297 (4245.5)
非化石燃料	黒液		t		0.0	0.0	0.0	0
	木材		t		0.0	0.0	0.0	0
	木質廃材		t		0.0	0.0	0.0	0
	バイオエタノール		kl		0.0	0.0	0.0	0
	バイオディーゼル		kl		0.0	0.0	0.0	0
	バイオガス		千m ³		0.0	0.0	0.0	0
	その他バイオマス		t		0.0	0.0	0.0	0
	RDF		t		0.0	0.0	0.0	0
	RPF		t		0.0	0.0	0.0	0
	廃タイヤ		t		0.0	0.0	0.0	0
	廃プラスチック	一般廃棄物	t		0.0	0.0	0.0	0
		産業廃棄物	t		0.0	0.0	0.0	0
	廃油		kl		0.0	0.0	0.0	0
	廃棄物ガス		千m ³		0.0	0.0	0.0	0
	混合廃材		t		0.0	0.0	0.0	0
	水素		t		0.0	0.0	0.0	0
	アンモニア		t		0.0	0.0	0.0	0
	その他	()	GJ		0.0	0.0	0.0	0
	小計			0.0		0.0	0.0	0

熱	他者から購入した熱	産業用蒸気	GJ		0.0 (.0)	1,000.0	1170.0 (1020.0)	▲ 1000.0	-65 (-60.0)	
		産業用以外の蒸気	GJ		0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0	0 (.0)	
		温水	GJ		0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0	0 (.0)	
		冷水	GJ		0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0	0 (.0)	
		その他 ()	GJ		0.0 (.0)		0.0 (.0)	0.0	0 (.0)	
	その他使用した熱	地熱	GJ		0.0		0.0	0.0	0	
		温泉熱	GJ		0.0		0.0	0.0	0	
		太陽熱	GJ		0.0		0.0	0.0	0	
		雪氷熱	GJ		0.0		0.0	0.0	0	
		その他	GJ		0.0		0.0	0.0	0	
	小計				0.0 (.0)		1170.0 (1020.0)	▲ 1170.0 - (1020.0)	-65 (-60.0)	
電気	電気事業者からの買電	電気事業者 1	千kwh	※4	1,795.0	15508.8 (17896.2)			820	
		電気事業者 2	千kwh	※4	0.0	0.0 (.0)			820	
		電気事業者 3	千kwh	※4	0.0	0.0 (.0)			0	
		電気事業者 3	千kwh	※4	0.0	0.0 (.0)			0	
	上記以外の買電	オフサイト型PPA (重み付けなし)	千kwh			0.0			0	
		オフサイト型PPA (重み付けなし)	千kwh			0.0			0	
		自己託送 (非燃料由来の非化石電気)	千kwh			0.0			0	
		上記以外の自己託送	千kwh			0.0			0	
	自家発電	他事業所からの供給	千kwh			0.0			0	
		太陽光	千kwh			0.0			0	
		風力	千kwh			0.0			0	
		地熱	千kwh			0.0			0	
		水力	千kwh			0.0			0	
		その他 (非燃料由来の非化石)	千kwh			0.0			0	
		その他 (燃料)	千kwh			0.0			0	
		非化石	千kwh			0.0			0	
		その他 (熱)	千kwh			0.0			0	
		非化石	千kwh			0.0			0	
		小計				15,508.8 (17896.2)				820
		合計				83,028.8 (85816.2)		1,170.0 (1020.0)	66,350.0 (66900.0)	5,051.0 (5005.0)
原油換算 (k1)			省エネ法	2,142.1						
			旧省エネ法	2,214.1						

電気事業者からの買電 (詳細)

時間帯		単位	電力会社1	時間帯		単位	電力会社2	時間帯		単位	電力会社3
			使用量				使用量				使用量
月別	4月	千kWh	100	月別	4月	千kWh		月別	4月	千kWh	
	5月	千kWh	100		5月	千kWh			5月	千kWh	
	6月	千kWh	100		6月	千kWh			6月	千kWh	
	7月	千kWh	100		7月	千kWh			7月	千kWh	
	8月	千kWh	200		8月	千kWh			8月	千kWh	
	9月	千kWh	100		9月	千kWh			9月	千kWh	
	10月	千kWh	100		10月	千kWh			10月	千kWh	
	11月	千kWh									
	12月	千kWh									
	1月	千kWh									
	2月	千kWh	200		2月	千kWh			2月	千kWh	
	3月	千kWh	200		3月	千kWh			3月	千kWh	
合計		千kWh	1795	合計		千kWh	0	合計		千kWh	0

電気事業者からの買電について、月ごとに使用量を入力してください。複数の電気事業者と契約している場合及び複数メニューを契約している場合、「電力会社2」「電力会社3」に入力してください。

電力会社1 (買電に係るもの) (※3) (t-CO2/千kWh) (②)			
電気事業者名	メニュー	基礎排出係数	調整後排出係数
〇〇会社	A	0.457	0.457

電力会社2 (買電に係るもの) (※3) (t-CO2/千kWh) (②)			
電気事業者名	メニュー	基礎排出係数	調整後排出係数

電力会社3 (買電に係るもの) (※3) (t-CO2/千kWh) (②)			
電気事業者名	メニュー	基礎排出係数	調整後排出係数

【参考】R6電気事業者別排出係数(R7.3月公表)×1,000

電気事業者名	
東京電力エナジーパートナー株式会社	
中部電力ミライズ株式会社	

環境省の公開する電気事業者別排出係数を1,000を乗じたものを入力してください。メニュー毎に「基礎排出係数」「調整後排出係数」を入力してください。複数の電気事業者と契約している場合及び複数メニューを契約している場合、「電力会社2」「電力会社3」に入力してください。

※その他の会社から購入している場合は、環境省HPを確認↓
https://policies.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/files/calc/r07_denki_coefficient_rev.pdf

※1 熱についてはA～Dとする。
※2 都市ガスの別表①欄の数値は、ガス供給事業者ごとの実際の数値を用いること。
※3 電気のうち買電に関するものは、各電力事業者の排出係数(各電力会社から公表される基礎排出係数又は代替値に千を乗じたもの)を「電気事業者からの買電(詳細)」の電気の排出係数(買電に係るもの)②に記入する。
※4 電気の排出係数は、各電力会社から公表される基礎排出係数又は代替値に千を乗じたものとする。
※5 Fの値に、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)第3条に定める排出係数を乗じて求められる値を記入する。なお、電気のうち買電に関するものはAの値に欄外②の値を乗じた値を記入する。